

元気な川崎！ 活き活き川崎区！

市政だより

2018-No.2

川崎市議会議員 林 としお



川崎市議会第1回定例会を終えて

「平成30年第1回川崎市議会定例会」が、2月13日から開催し、3月16日に閉会となりました。

民進みらい川崎市議会議員団では、代表質問を2月27日に行い、「平成30年度予算案」や「行財政改革第2期プログラム案」などをはじめ、市政一般や提出された議案について質問を行いました。

また、今定例会に提出された平成30年度一般会計予算など予算議案26件、条例議案48件など計86件の議案については、審議の結果、全議案とも原案通り可決・決定をしました。

本定例会では、予算審査特別委員会が設置され、平成30年度一般会計予算をはじめ、各会計の予算審査に関わる各委員からの質疑を行ないました。

市議会報告として、林敏夫が3月5日に行いました予算審査特別委員会での質問の概要を報告させていただきます。

■ 浸水対策・合流式下水道の改善事業の推進について

質問 平成30年度のそれぞれの予算額と取組内容について伺います。

回答（上下水道事業管理者） 初めに、浸水対策事業の予算額につきましては、約8億8千万円、合流式下水道の改善事業の予算額につきましては約15億2千万円を計上しております。

次に主な取組みといたしましては、浸水対策と合流式下水道の改善に効果のある、大師河原貯留管整備事業を推進し、完了させるほか、六郷遮集幹線の整備を推進してまいります。

また、平成28年度に定めた、新たな重点化地区、6地区における浸水被害解消に向けた取組みなどを推進してまいります。



質問 昨年3月の予算審査特別委員会において、上下水道事業中期計画におきましては、新たな浸水リスクの高い重点化地区として6地区が指定され、どのような取組みで浸水対策を図っていくのか伺いました。答弁では「新たな重点化地区6地区について、対策案や整備の手順などを検討し、さらに国との交付金に係る調整なども行い、京町・渡田地区、川崎駅東口周辺地区、大島地区、観音川地区の4地区につきましては、平成30年度以降、順次事業に着手してまいります。」としていましたが、平成30年度の予算額と取組みについて伺います。

回答（上下水道事業管理者） 初めに、予算額につきましては、三沢川地区の整備などに約1億2千万円、対策手法の検討に約2千万円を計上しております。

次に、主な取組みといたしましては、三沢川地区におきまして、対策手法について地元と調整した上で、国との交付金にかかる調整なども行い、浸水対策に着手してまいります。

また、その他の5地区につきましては、浸水シミュレーションを活用し、引き続き効果的かつ効率的な対策手法の検討を進め、平成30年度以降、順次、計画を策定し、事業を進めてまいります。

このうち、京町・渡田地区、川崎駅東口周辺地区、大島地区、観音川地区の4地区につきましては、互いに隣接する地区であることから、流域の異なる下水管きよを活用するような、既存施設のさらなる活用方策と、下水管きよの整備などによる従来の方策を組み合わせた浸水対策手法を検討する予定でございます。

要望 今回三沢川地区について具体的な着手がしめされました。その他の5地区につきましても浸水対策の検討を更に進めていただくことを要望します。

また、京急大師線立体交差事業の2期区間中止に伴い、地下構造物の活用を全庁的に検討されていることと仄聞しますが、浸水被害軽減に向けた活用についても検討していただくことを要望します。

川崎駅東口周辺地区総合自転車対策事業費について

質問 平成30年度は、前年度比約3億6800万円増の6億2816万円の予算計上がされています。平成30年度の具体的な取組内容について伺います。

回答 (建設緑政局長) 平成30年度の事業内容につきましては、京急高架下駐輪場、小川町地区の道路及び駐輪場、新川通りの通行環境の整備を行うものでございます。

京急高架下駐輪場につきましては、太田総合病院前から日進町交差点付近までの京急高架下スペースに、現在、約750台収容の駐輪場整備を進めておりまして、平成30年11月末の完成を予定しております。

小川町地区の道路及び駐輪場につきましては、川崎駅側の1期エリアと市電通り側の2期エリアに分けて行うもので、2期エリアにおいて、地下機械式駐輪場2基と周辺の道路を整備するもので、平成31年度の完成を予定しております。

新川通りの通行環境整備につきましては、市役所通りと同様に、歩道を歩行者と自転車に分離し、買い物や飲食など短時間利用者向けの駐輪場を整備するもので、平成32年度の完成を目指してまいります。



地下機械式駐輪場イメージ

質問 京急高架下の駐輪場は現在工事中で平成30年11月には約750台収容できる駐輪場が完成するとのこと。新たな駐輪場ということもあり、駐輪場までの安全な自転車通行ルートへの指定やその啓発活動、そして駐輪場の出入りに関わる安全対策が必要となりますが、具体的な対策について伺います。

回答 (建設緑政局長) 京急高架下駐輪場の自転車通行ルートにつきましては、本駐輪場の案内チラシ等への参考ルートに記載や、駐輪場への誘導看板の設置、誘導員配置などを行い、啓発に努めるとともに、周辺道路の自転車通行環境整備として、市道日進町32号線にナビラインを設置してまいります。

本駐輪場の出入口につきましては、2ヶ所の出入口周辺に設置するフェンスは見通しのよいものにするのと同時に、出口部の路面には飛び出し防止線を設置いたします。

また、川崎駅に近い出口部につきましては、新たに横断歩道を設置し、施設内に待機スペースを確保することで、本駐輪場の利用者の安全対策を講じてまいります。

要望 市役所通りと同じように、いよいよ新川通りの通行環境整備に向けた対応が本格的にはじまります。それぞれの工事が安全に行われるよう指導と対応を要望します。

また、新たな京急高架下駐輪場設置に関わる、安全対策ならびに啓発活動については、地元への説明も含め丁寧に対応していただくよう要望します。

林としお事務所のご案内

連絡先：〒210-0835 川崎市追分町6-2 エステート森101
TEL. 044-223-6625 / FAX. 044-223-6635

平日の連絡は火・木・金の11時～17時30分。
留守の際は留守電に伝言をお願いします。

プロフィール

- 1964年 1月28日生まれ
- 1982年 旧日本鋼管(NKK)京浜製鉄所入社
- 2012年 JFEスチール労連 書記次長
- 2014年 JFEスチール東日本製鉄所(京浜地区)総務部
- 2015年 川崎市議会議員初当選
(平成30年度) ●健康福祉委員会副委員長 ●川崎港港湾審議会委員

